

「見捨てない神」
(ヘブル人への手紙 13章 5節)

hi-b.a.スタッフ：水梨郁河

序) 信じているけど、救いの確信がない

・信仰は平安を与えるはず……。なのに不安になる。

→救いの確信がないから

・救いの確信は不安を駆り立てるものではなく、平安を与えるもの

1) 救いの確信はどこから？

・救いの確信は、神様から与えられるもの。

→自分の努力で救いを得たわけではない。救われたのはただ神の恵み。

・不安になったら十字架を見上げること。(□ヨハネ 4:9,10)

・私たちは「神様を選んだ」のではなく、「神様に選ばれた」。

(ヨハネ 15:16)

・救いの確信は自分の内側からではなく、神様の十字架にある。

→信仰者は、十字架の約束を信じている。

2) 見捨てない神

・人間は何度も神様を見捨て、見放して歩んできた。

→神様は人間を決して見捨てず、見放すことはない。

・ヘブル人への手紙は、イエスキリストがいかにして私たちの救い主として来られたかを書物を通して明らかにしている。

→著者は手紙の中でこのお方から離れないようにと何度も忠告をする。

結) 主を見上げて歩もう

・愛されるために生きるのではなく、愛されているものとして生きよう。

・平安を得るためではなく、平安の中を歩もう。

→「わたしは、決してあなたを離れず、
またあなたを捨てない。」



名前(_____)

① あなたが神様を信じているのはなぜですか。

② あなたにとってこれがあると安心できるものはなんですか。



③ 十字架を見上げるとどんな気持ちになりますか。

() 不安になる。

() イエス様の愛がわかる。

() 夏休みの宿題を思い出す。

() その他

